

病院の概要

- **病床数** 567床
- **医師数（研修医を除く）** 120名（うち指導医数 32名）
- **研修医数** 1年目 11名 2年目 10名
- **研修医の主な出身大学** 慶應義塾大学・山梨大学・群馬大学・帝京大学・昭和大学・東邦大学・獨協医科大学・新潟大学・日本大学・日本医科大学・浜松医科大学・埼玉医科大学・筑波大学
- **診療科** 内科 消化器内科 神経内科 循環器内科 小児科
新生児内科 外科 呼吸器外科 整形外科 脳神経外科
心臓血管外科 小児外科 消化器外科 血管外科 形成外科
歯科口腔外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科
耳鼻咽喉科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科
病理診断科 救急科 精神科
- **1日平均外来患者数** 980名 ● **1日平均入院患者数** 455名
- **主な認定施設** 地域周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院、日本内科学会認定教育病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会認定小児科専門医研修施設、日本麻酔科学会麻酔指導病院



研修プログラムの特色

当院はさいたま市の基幹病院の1つであり、年間約6000台の救急車の受入れを中心に、急性期医療、がん医療、周産期医療、地域連携（病診連携）に力を入れています。

研修プログラムはプライマリケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を身につけることを第一目標とし、さらに各自の到達度と希望に合わせて専門的知識、技術を習得するためのプログラムを柔軟に設けています。1年次には、内科（7か月）、外科（1か月）、小児科（1か月）、救急科（2か月）、麻酔科（1か月）をローテートし、2年次は各自の希望に合わせた選択期間を中心に地域医療などをローテートします。

研修医セミナーも毎週開催しており、知識の整理や症例検討を行っています。また、2年間を通して内科系、外科系の日当直を行うことで、より実践的なトレーニングを積むことができます。



プログラム 例

さいたま市立病院初期臨床研修プログラム（募集定員12人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科（循環器、呼吸器、消化器、腎内血膠）各 1.5 か月						神経内科	外 科	小児科	救急科		麻酔科
2年目▶	総合内科	地域医療	精神科	選択科目								

1年次の内科は消化器内科、呼吸器内科、腎・内分泌代謝・血液・膠原病内科、循環器内科のを1.5か月ずつ、神経内科を1か月ローテートします。

地域医療は1か月の中でさくら病棟とさいたま市立病院近隣の開業医での研修を中心とした開業医研修と、石川県にある公立宇出津総合病院あるいは珠洲市総合病院でのへき地医療研修のいずれかを選択します。

精神科は埼玉県立精神医療センターで行います。

研修医の処遇

- 給 与▶1年次：33万円／月 2年次：35万円／月
- 諸手当▶宿日直手当
- 保 険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険
- 勤務時間▶8時30分～17時15分
- 当 直▶あり（4回／月）
- 休 暇▶2日／週、有給休暇（12日／年）
- 宿 舎▶なし
- その他▶職員用駐車場有

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・医療法人明医研ハーモニークリニック
- ・さいたま市浦和休日急患診療所
- ・公立宇出津総合病院
- ・珠洲市総合病院
- ・埼玉県立精神医療センター

当院のキーワード

プライマリ・ケアを学ぶ！豊富で多彩な症例！

人口128万人を有するさいたま市の基幹病院である当院では、プライマリ・ケアから各専門領域での高いレベルの医療まで、幅広い医療サービスを提供しており、common diseaseから学会発表につながる稀な疾患まで豊富な症例を経験することができます。

内科は消化器、循環器、神経、呼吸器、腎内分泌代謝、血液・膠原病リウマチ、感染の各分野をカバーしており、外科は一般消化器外科、血管外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科が高いレベルの手術をしています。地域周産期母子医療センターを設置し、周産期医療、小児医療にも力を入れています。



研修責任者から

当院の特徴は救急医療を重視していること、急性期病院であること、がん診療連携拠点病院であること、そして周産期医療を担っていることです。救急車受入れ台数は年間約6000台で、その多くは一次および二



臨床研修委員長/院長補佐兼外科部長
山藤 和夫

次救急の患者さんです。このように、当院はcommon diseaseの経験や、primary careにおけるminimum requirementの習得に適した環境です。また、初期臨床研修で最も重要な内科は循環器、呼吸器、消化器、神経内科など各部門が充実しており、若手医師の教育に熱心な指導医が多数います。当院での2年間の研修により十分な臨床経験を積み、医師としての基礎的診療能力や基本的姿勢、態度を身につけることができます。これまでの初期臨床研修の経験から、研修医が病院を活性化し、病院の診療能力をも向上させることを多くの病院職員が認識しており、研修医は病院の大切な一員となっています。医学生のみなさん、さいたま市立病院で初期臨床研修を受けてみませんか。

先輩研修医から

私がこの病院を選んだ理由はいくつかあります。ほぼ全ての内科・外科・マイナー科が揃っているこの病院はかなり魅力的でした。

また、2年次の選択期間が長いこと、将来の進路として悩んでいる複数の科を重点的に、早めの時期に回ることができるのも理由の一つです。

実際に研修してみて感じたさいたま市立病院のアピールポイントはいくつもありますが、一番に思うことは、指導医の先生方と研修医の距離が近いこと、common diseaseを中心とした豊富な症例を、救急対応から入院業務まで行うことができること。特に救急外来でのファーストタッチに関わることで、自分で考える力、聞く力、身体診察の能力を養うことができます。指導医の先生方が必ずバックアップについて指導し、質問すれば丁寧に教えてくださるため、自己流に走ることなく安心して診療にあたることができます。研修医の数も各学年11名とちょうどよく、みんなで教え合ったり支え合ったりしながら研修ができるのも良い点です。

その他にも患者さんが優しく穏やかな人が多い、などなどおすすめポイントはたくさんあるので、ぜひ一度は見学にいらしてください！



研修医2年目
工藤 裕実

女性医師支援コーナー

- ・当院では院内保育室を設置し、0歳から6歳までの乳幼児を対象とした24時間保育を実施しておりますので、小さなお子様のいる方であっても、働くことが可能です。
- ・年次有給休暇の他に、産休や、小さな子供のいる職員を対象とした保育時間などの特別休暇も整備されております。



連絡先

さいたま市立病院

庶務課 小森谷 祐介

〒336-8522 さいたま市緑区三室2460

TEL 048-873-4111(代表) FAX 048-873-5451

E-mail hsp-jimukyoku-shomu@city.saitama.lg.jp

URL http://saitama-city-hsp.jp/

アクセス JR線北浦和駅からバス15分、浦和駅からバス20分、東浦和駅からバス15分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 春休み、夏休みに病院説明会を企画しているほか、年間を通して個別病院見学を受け付けております。申込方法の詳細は当院ホームページ上に掲載しております。ホームページでは見学に際しての各診療科からのメッセージや研修医の声も掲載しておりますので、そちらも是非ご覧ください。